課題番号１７

創（総）意工夫で未来へ躍進

対象：新十津川町総進４・５地区（１３戸）

1　活動の背景

現状・課題

- 家族経営（水田単作 or 水田＋園芸・畑作）
- 規模拡大農家へ農地集積　労働力足りない
- 経営移譲進んでいる　若手多い

対　策

- ①土地利用作物の安定生産
- ②高収益作物の推進
- ③担い手への技術伝承と資質向上

2　活動の経過

① 土地利用作物の安定生産

茎数が少なかったかな･･･

初期の浅水管理がキ･メ･テ！

高品位米出荷率高位安定化

＜目標＞
改善項目の実施戸数
４戸→６戸

戸別に改善目標設定

・適正施肥管理　・登熟期水管理
・適正栽植密度　・個別面談

水稲低コスト省力化技術の導入

＜目標＞
取組実施面積
23ha → 28ha

ドローン直播
密播中苗
乾田直播

・実証ほ
・御当地版省力栽培暦

ドローン直播･･･早い・楽だ！

生育に応じた畑作物の適正管理

＜目標＞
管理作業の実証項目
４項目 → ６項目

小麦・大豆
適正分追肥

・ドローン活用

ドローンで効率的に分追肥です！

② 高収益作物の推進

ミニトマト収量の高位安定化

＜目標＞
基本技術実施戸数
２戸 → ３戸

戸別の
基本技術対策

・施肥管理　・個別面談

温度と水管理・追肥が肝です！

なるほど

新規園芸品目導入

＜目標＞
新規作目導入戸数
０戸 → １戸

にんにく
作付け

・肥培管理　経済指標提示

水稲と労働競合ないのが特徴です

やってみるかな‥

③ 担い手への技術伝承と資質向上

担い手への技術伝承と資質向上

＜目標＞
学習会参加率
0％ → 60％

管理技術向上
育苗巡回・生育調査

・水稲ほ場巡回　・先進農家視察

そー言えば、
なかなか田んぼに
入ったことないな‥

実際に計って
みましょう！

3　成果の具体的内容

表１　活動成果

具体的推進事項	実績	到達度
高品位米出荷率の高位安定化	9戸	150%
水稲低コスト省力化技術の導入	32.8ha	117%
生育に応じた畑作物の適正管理	6項目	100%
ミニトマト収量の高位安定化	4戸	133%
新規園芸品目の導入	1戸	100%
栽培経営管理技術の習得	47%	78%

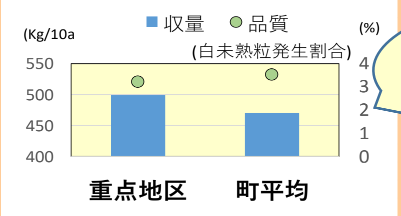

図１　水稲収量・品質の比較

収量・品質が町平均を
上回った！

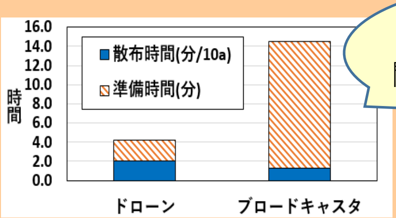

図２　秋小麦追肥作業の比較

ドローン分肥は作業時
間の軽減になった

にんにく
始めました！

表２　経済評価

	R2	R3	R4	R5
農業所得	100	86	123	126
農業所得率	42	37	47	25
自己資本比率	71	74	77	76
固定比率	99	94	87	91
売上高負債比	64	68	62	60
粗生産額	283	246	305	318

記録的高温の中、所得は維持！
今後、農地の流動化が進む！(予)

4　今後の対応

① 土地利用作物の安定生産 ⇨ 低コスト省力技術の支援

② 高収益作物の推進 ⇨ にんにく作付け面積拡大

③ 担手への技術伝承と資質向上 ⇨ 学習会開催（ほ場ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ）

写真　大盛況な若手学習会